

東瀬戸内文化圏における「小豆島 石の魅力創造プロジェクト」

概要

大坂城石垣石切丁場をはじめ、人類共通の多様な「石の文化」が色濃く残る瀬戸内海・小豆島
グローバル化と効率化によって歴史ある石材産業は衰退し、過疎化が進行する小豆島の元気を呼び返すため、地域内外の力を結集し、「石の文化」を守り、磨き、魅力を高めて、次の世代につなげていくプロジェクトを展開

事業の内容

事業の内容

- ❖日本の三都の城郭（江戸・大坂・金沢）と石切丁場の魅力を日本と世界に発信する「瀬戸内海・小豆島 石のシンポジウム2015」を開催
- ❖近世の海運技術と「海の民」の知を探索する海中遺構調査を展開し、日本では立ち遅れている「水中考古学」の実践と確立を推進
- ❖東瀬戸内文化圏の石の文化の「世界遺産化」を目指し、有識者会議を開催するなど多様な学術領域から魅力を検証
- ❖住民共同の考古学（パブリックアーケオロジー）を実践し、地域の人びとや学生が主体となって石切丁場の調査を展開

総事業費

11.3百万円

ポイント

シンポジウムや新しい学術調査、パブリックアーケオロジーの実践などを通じて、地域の人びとが自分たちの文化の素晴らしさを知り、守り、新しい価値を加えていく営みを通して、地域の連帯と絆を高め、自信と誇りを取り戻すことで、地方の創生につなげていく事業を展開
自分たちの知恵と情熱で地域を元気にする「自普請」の心で「海と島」の復権を目指していく

事業の成果

- NHKBSプレミアム番組「風雲！大歴史実験 大坂城の巨大石垣を築けー」の制作やシンポジウム、パブリックアーケオロジーなどを産学官民連携で展開することにより、地域の連帯と絆が高まり、「石の文化」に対する自信と誇りを醸成
【石の魅力創造プロジェクトへの関係者（スタッフ）数 H26：自治会役員中心20名 → H27：自治会、石材業、漁師、自営業など40名】
【BS朝日 関口宏の「美しき日本の田舎」～十人十色の移住物語～において、子どもたちが石の文化を学ぶ特別番組が実現】
- 瀬戸内海・小豆島の石の文化をアカデミックに調査研究する大学が大幅に増加し、多様な大学連携を実現
【H26：同志社大学、香川大学 → H27：同志社大学、香川大学、神戸大学、高知大学、徳島文理大学】
- 全国に拡がりを見せるシンポジウム
【シンポジウムの県外からの参加者数 H26:47名 → H27：73名 NPO法人大阪城甲冑隊、堺火縄銃保存会、金沢の石工職人との連携も実現】
【他地域との連携を推進 H26：大阪市、笠岡市 → H27：大阪市、笠岡市、西宮市、丸亀市、小田原市、金沢市】
- 海の文化遺産、水の子岩（礁）の地形等を初めて把握
【マルチビーム音響測深機の導入により、水の子岩（礁）の地形把握に初めて成功。水中ロボットによる動画撮影も展開】
- ☆世界考古学会議第8回京都大会（WAC-8京都）における小豆島プレシンポジウム・プレツアーを2016年の夏に開催
【東アジアでは初の開催となる世界考古学会議において、そのオープニングを飾るプレイベントを小豆島で開催し、世界に向けて石の文化の魅力を発信】

香川県小豆島町

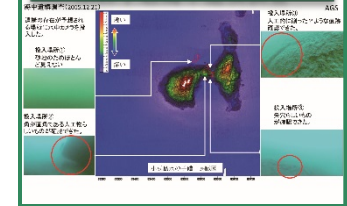
石の文化クルージング



シンポジウム



水の子岩海中遺構調査



有識者会議



大狗岩丁場石材分布調査

